

# 住宅用火災警報器 設置しましたか？

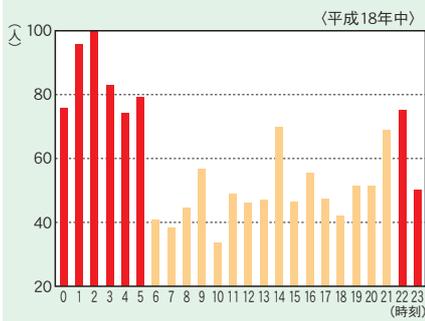
＝住宅用火災警報器は、早期に火災の発生を感知し、あなたに知らせます＝

住宅火災による死者数（放火自殺者等を除く）は、平成15年から連続して1,000人を超えています。

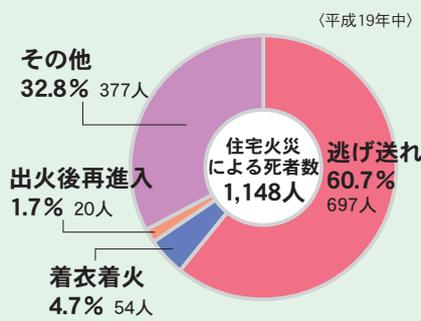
また、同死者数の約6割が65歳以上の高齢者であり、今後の高齢化の進展に伴い、さらに増加するおそれがあることなどから、全ての住宅に住宅用火災警報器（以下、「住警器」という）の設置・維持を義務付ける法制度が整備されました。

これにより、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年5月31日までに設置が必要となりました。

## ■時間帯別の死者の発生状況 就寝時間帯が多い

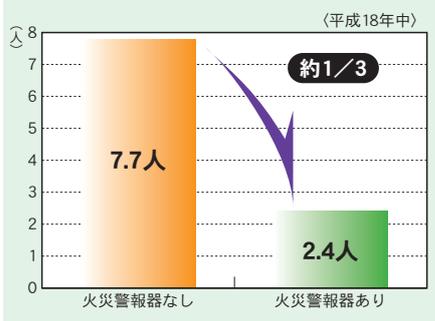


## ■住宅火災で死に至った原因 「逃げ遅れ」が60%



## ■住警器設置の効果

死者数は1/3に減  
住宅火災100件あたりの死者数



(注) 総務省消防庁資料

## 住警器の奏功事例

住警器が作動し、大事に至らなかった例を、秋田市消防本部の資料により紹介します。

<p>ぼや火災（平成19年6月） 共同住宅（秋田市寺内）</p> <p>トイレの換気扇モーターの過熱により出火し、台所の熱感知機が発報した。 隣棟居住者が警報音を聞き、音のする方を見たところ、出火室の窓から煙が漂っているのを発見したものの。</p>	<p>非火災（平成20年7月） 共同住宅（秋田市外旭川）</p> <p>鍋で魚を煮ていたところ、居眠りをしてしまい鍋の中の魚を焦がしたもので台所の熱感知器が発報した。 隣室居住者が焦げくさい臭いと「ピーピー火事です火事です」という警報音を聞き119番通報したものの。</p>	<p>非火災（平成20年11月） 共同住宅（秋田市手形）</p> <p>鍋で食品を温めたまま居眠りをしてしまい、鍋の中の食品を焦がしたため居室と寝室の煙感知器が発報した。 上階の居住者が焦げくさい臭いと「ピーピー」という警報音を聞き119番通報したものの。</p>
<p>ぼや火災（平成20年11月） 長屋（秋田市新藤田）</p> <p>枕もとに置いていた電気コンロに鍋をかけたまま就寝したため、布団が電気コンロのヒータに接触し出火したものと推定。 現場付近を通りかかった者が、住宅用警報器が鳴動していたのに気づいたもの。</p>	<p>ぼや火災（平成21年5月） 共同住宅（秋田市将軍野）</p> <p>就寝中に、居室内に設置している住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所に置いてあった座布団が燃えているのを発見した。 新聞配達員が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、持っていた携帯電話で119番通報した。</p>	<p>ぼや火災（平成21年7月） 住宅兼店舗（秋田市下北手）</p> <p>屋外で植木鉢に水を掛けていた時に住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所へ行ったところ、ガステーブル上のフライパンから炎が出ているのを発見した。</p>